

2023年3月期（2022年度） 決算説明会

2023年5月30日

株式会社 指月電機製作所

(東証スタンダード/証券コード6994)

代表執行役社長 足達信章

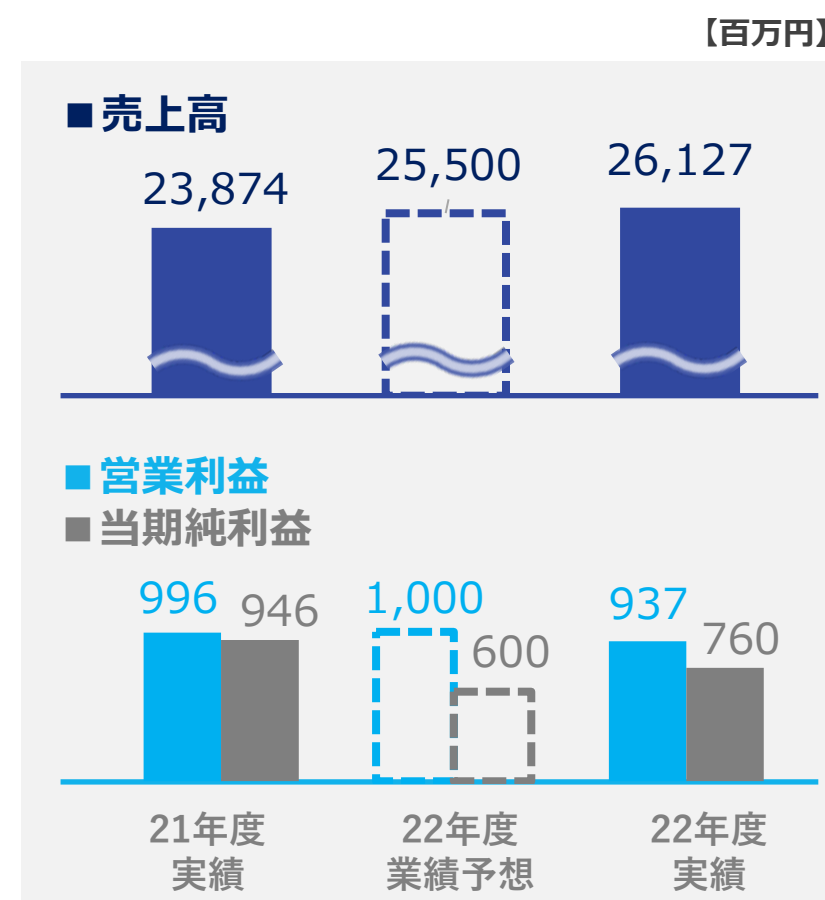
1. 2023年3月期 通期 経営概況（総括）
2024年3月期 通期 最新見通し
2. 中期経営計画 第Ⅱ期の進捗と取り組み
3. 補足資料
 - └ 中期経営計画のテーマ、事業セグメント、事業環境など

1-1. 2023年3月期（2022年度通期）経営概況

- ▶ 売上高は、産業機器用コンデンサ、電力・環境省エネ機器等が好調に推移し、前年度値、業績予想値を共に上回り、昨年度に続き過去最高を更新。
- ▶ 営業利益は、売上高の拡大や価格転嫁を進めるものの、素材/エネルギー価格の高騰が継続しており、販売価格への転嫁までのタイムラグにより、前年度値、業績予想値に届かず。

【百万円】

| 項目 | 2021年度 通期 | 2022年度通期 | | 前年度比 |
|-------------------------|--------------|----------|--------|-----------------|
| | | 業績予想 | 実績 | |
| 売上高 | 23,874 | 25,500 | 26,127 | +2,252 (+9%) |
| 営業利益 | 996 | 1,000 | 937 | ▲59 (▲6%) |
| 営業利益率 | 4.2 % | 3.9 % | 3.6 % | — |
| 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 946 | 600 | 760 | ▲186 (▲20%) |



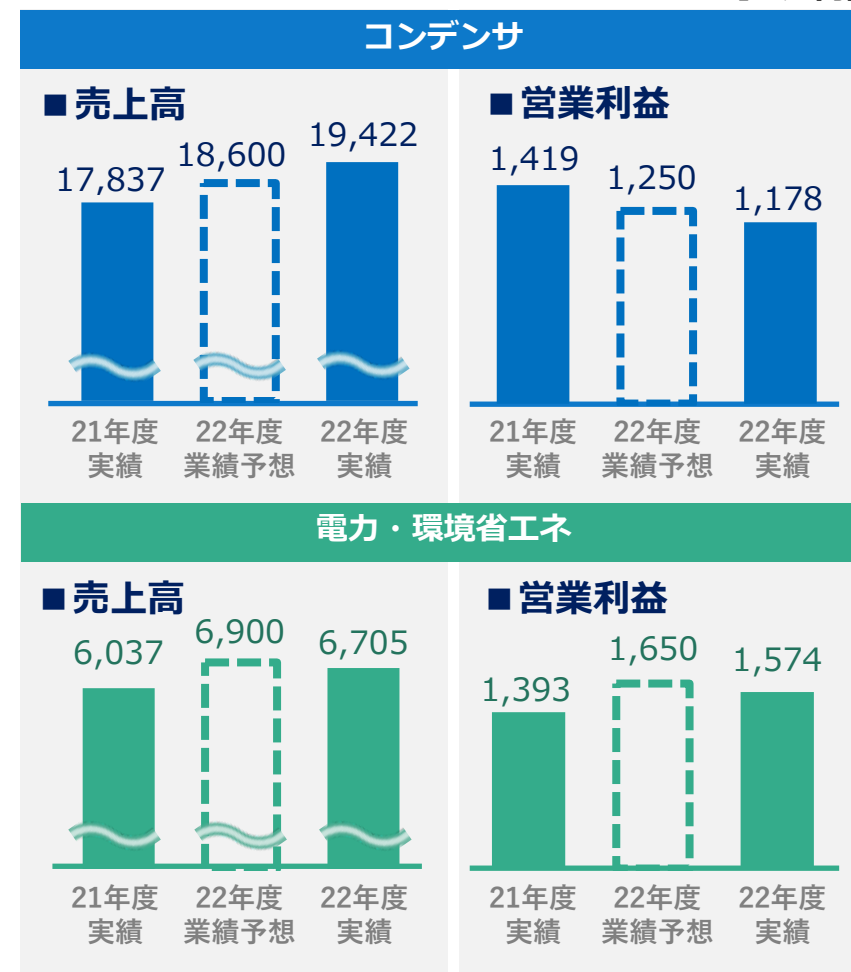
1-1. 2023年3月期（2022年度通期）セグメント別売上実績

- ▶ コンデンサは、4QにxEV用の減産があったものの、産業機器用、家電用の受注が回復。
- ▶ 電力・環境省エネは、瞬低が前年度比では伸長した一方で、投資控えもあり苦戦を強いられた。

【百万円】

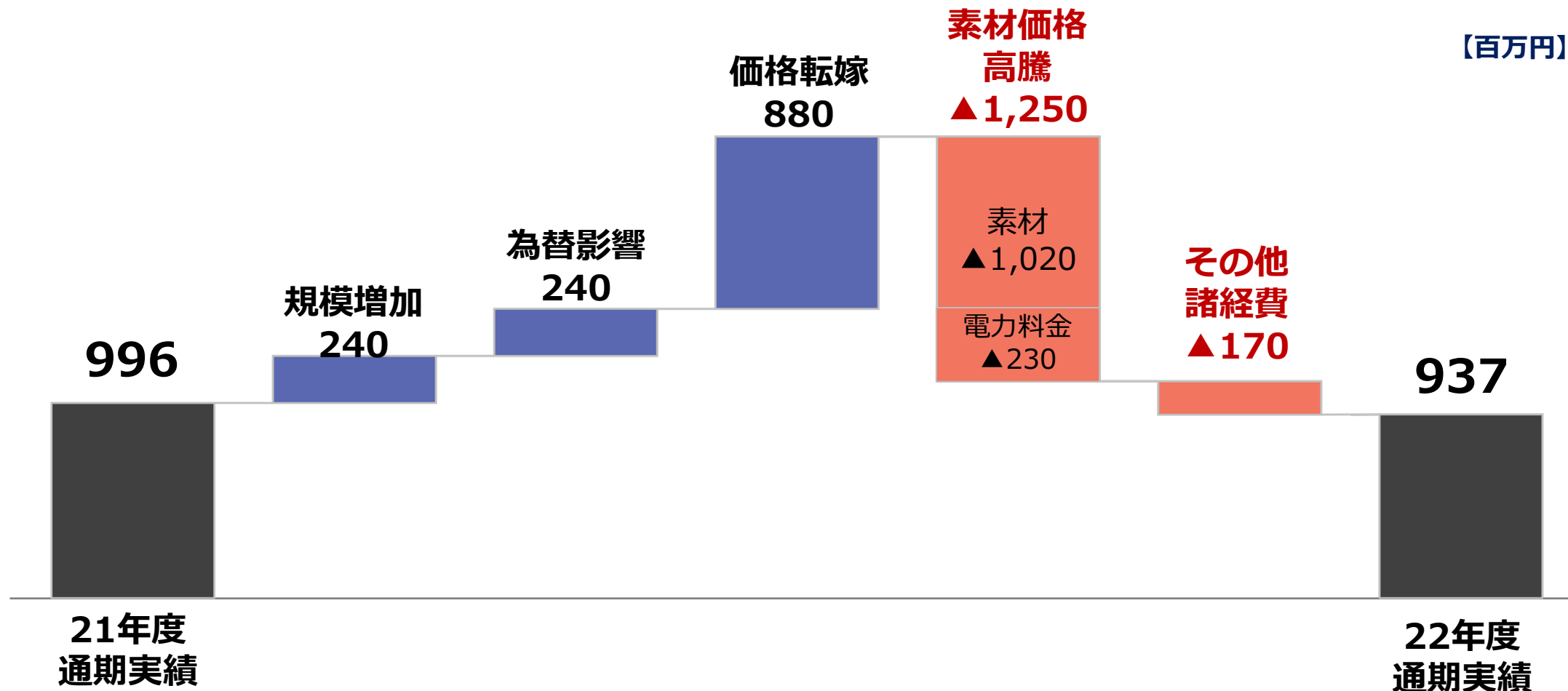
| セグメント | 項目 | 2021年度 通期 | 2022年度通期 | | 前年度比 |
|--------------|-------|--------------|----------|--------|-----------------|
| | | | 業績予想 | 実績 | |
| コンデンサ | 売上高 | 17,837 | 18,600 | 19,422 | +1,584 (+9%) |
| | 営業利益 | 1,419 | 1,250 | 1,178 | ▲240 (▲17%) |
| | 営業利益率 | 8.0% | 6.7% | 6.1% | — |
| 電力・環境 省エネ | 売上高 | 6,037 | 6,900 | 6,705 | +668 (+11%) |
| | 営業利益 | 1,393 | 1,650 | 1,574 | +180 (+13%) |
| | 営業利益率 | 23.1% | 23.9% | 23.5% | — |
| セグメント利益の調整額 | | ▲1,815 | ▲1,900 | ▲1,816 | — |

【百万円】



1-1. 2023年3月期（2022年度通期）損益変動分析

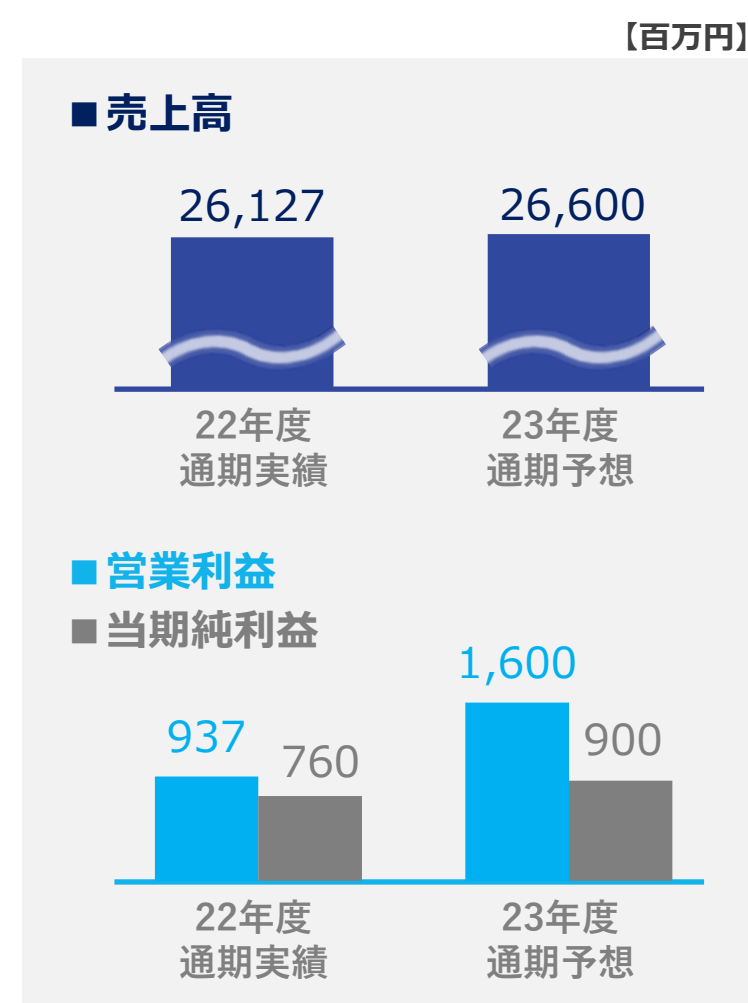
- ▶ 価格転嫁の進展や規模増加及び為替影響による増益の一方で、素材価格の高騰継続、加えて電力料金の高騰の影響が大きく、前年同期比0.6億円の減益。



1-2. 2024年3月期（2023年度通期）最新見通し

- ▶ 引き続きxEV用の減産が見込まれるが、産業機器用と電力機器用の牽引により、売上高は22年度および 中期経営計画を上回る266億円を計画。
- ▶ 営業利益・当期純利益についても前年比で増加の計画。

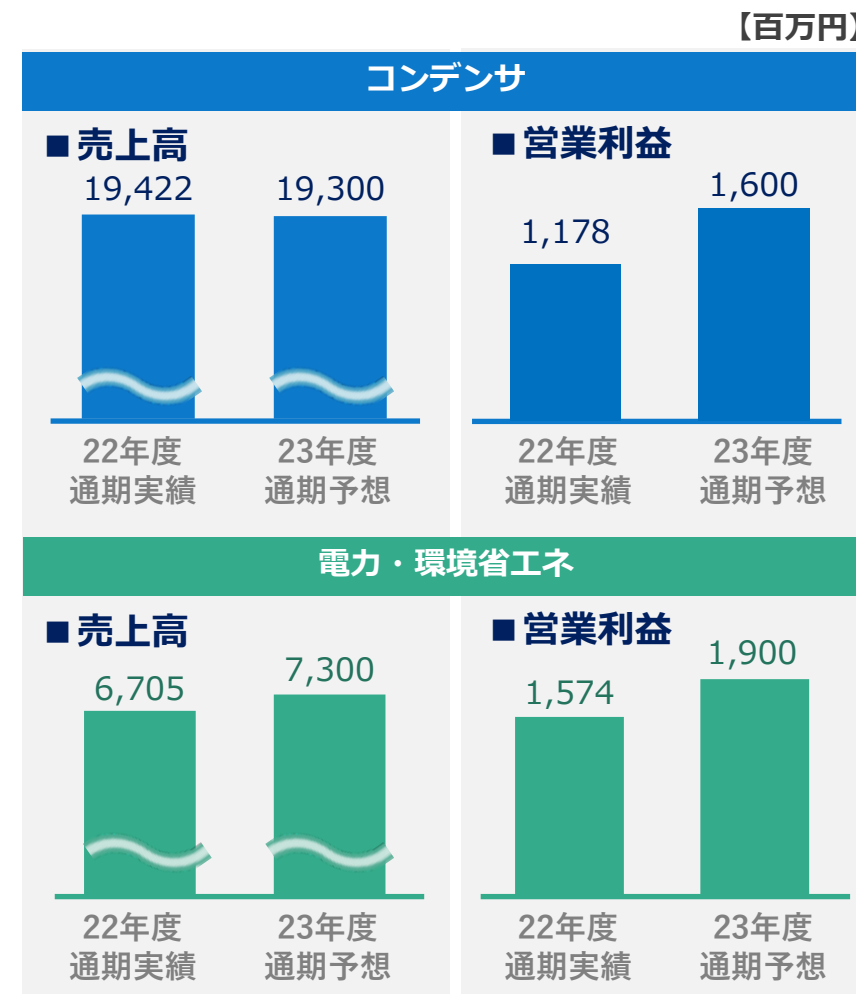
| 項目 | 【百万円】 | | |
|---------------------|----------------|----------------------|------------|
| | 2022年度 通期 | 2023年度 通期 最新予想 | 前年度比 |
| 売上高 | 26,127 | 26,600 | +472 |
| (上期/下期) | 12,457/ 13,670 | 12,700/ 13,900 | +242/ +229 |
| 営業利益 | 937 | 1,600 | +663 |
| (上期/下期) | 135/ 801 | 800/ 800 | +664/ ▲1 |
| 営業利益率 | 3.6% | 6.0% | — |
| (上期/下期) | 1.1%/ 5.9% | 6.3%/ 5.8% | — |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 760 | 900 | +139 |
| (上期/下期) | 191/ 569 | 300/ 600 | +108/ +30 |



1-2. 2024年3月期（2023年度通期）セグメント別見通し

- ▶ コンデンサは、産業機器が牽引するも、xEVの減収をカバーできず、減収の計画。
- ▶ 電力・環境省エネは、設備投資の回復やカーボンニュートラル商機の増加により増収の計画。

| 項目 | セグメント | 【百万円】 | | |
|--------------|-------|--------------|----------------------|------|
| | | 2022年度 通期 | 2023年度 通期 最新予想 | 前年度比 |
| コンデンサ | 売上高 | 19,422 | 19,300 | ▲122 |
| | 営業利益 | 1,178 | 1,600 | +421 |
| | 営業利益率 | 6.1% | 8.3% | — |
| 電力・環境 省エネ | 売上高 | 6,705 | 7,300 | +594 |
| | 営業利益 | 1,574 | 1,900 | +325 |
| | 営業利益率 | 23.5% | 26.0% | — |
| セグメント利益の調整額 | | ▲1,816 | ▲1,900 | — |



1-3. 中期経営計画第Ⅱ期との対比

- ▶ 24年度売上高280億円、営業利益率8%超の目標に対し、売上高は順調に推移。引き続き、24年度以降を見据えた増産体制の構築を進める。利益は、素材高騰影響により計画比減で推移。24年度に向けリカバリーを加速する。

| 項目 | | 単位 | 2021年度 (実績) | 2022年度 (実績) | 2023年度 (最新予想) | 2024年度 |
|-------------------------|---------------|-------|----------------|----------------|------------------|--------|
| 売上高 | 中期経営計画 | 【億円】 | — | 252 | 262 | 280 |
| | 実績/見込値 | 【億円】 | 238 | 261 | 266 | — |
| 営業利益 | 中期経営計画 | 【億円】 | — | 15.0 | 20.0 | 23.0 |
| | | 【%】 | — | 6.0 | 7.6 | 8.2 |
| | 実績/見込値 | 【億円】 | 9.9 | 9.3 | 16.0 | — |
| | | 【%】 | 4.2 | 3.6 | 6.0 | — |
| 親会社株主に 帰属する当期 純利益 | 実績/見込値 | 【億円】 | 9.4 | 7.6 | 9.0 | — |
| 設備投資 | 実績/見込値 | 【百万円】 | 1,300 | 1,038 | 3,400 | — |

1-4. 設備投資・ROE・ROA・配当

- ▶ ROE/ROAは、利益未達により低下傾向。素材高騰分の価格転嫁、生産性の改善を進める。
- ▶ 配当は、22年度は公表通りの9.0円とし、23年度は年間8.5円を計画。
事業拡大に向けた成長投資、人的面の手当を含めた運転資金とのバランスを考慮しつつ、
配当性向30%程度で計画。

| 項目 | 単位 | 2021年度 (実績) | 2022年度 (実績) | 2023年度 (最新予想) |
|------|-------|----------------|----------------|------------------|
| 設備投資 | 【百万円】 | 1,300 | 1,038 | 3,400 |
| ROE | 【%】 | 3.9 | 3.0 | 3.5 |
| ROA | 【%】 | 3.1 | 2.7 | 4.2 |
| 配当 | 【円】 | 8.5 | 9.0 | 8.5 |
| 配当性向 | 【%】 | 29.6 | 39.0 | 31.1 |

<補足> 事業別売上推移

【百万円】

| 重点事業 | 2020年度 | | | | | 2021年度 | | | | | 2022年度 | | | | | 2023年度 | |
|-------|----------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 実績 | | | | | | | | | | | | | | | | 計画 |
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 合計 | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 合計 | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 合計 | 年間 | |
| コンデンサ | 産業機器 | 1,452 | 1,407 | 1,322 | 1,344 | 5,525 | 1,402 | 1,543 | 1,743 | 1,910 | 6,598 | 1,879 | 2,099 | 2,202 | 1,982 | 8,163 | 8,700 |
| | xEV(自動車) | 863 | 1,602 | 1,794 | 1,964 | 6,223 | 1,753 | 1,609 | 1,940 | 1,733 | 7,035 | 1,628 | 1,644 | 1,956 | 1,754 | 6,984 | 6,500 |
| | その他 | 836 | 852 | 1,016 | 1,098 | 3,802 | 1,021 | 938 | 1,090 | 1,155 | 4,204 | 960 | 1,000 | 1,139 | 1,174 | 4,274 | 4,100 |
| | 合計 | 3,151 | 3,861 | 4,132 | 4,406 | 15,550 | 4,176 | 4,090 | 4,773 | 4,798 | 17,837 | 4,468 | 4,744 | 5,297 | 4,911 | 19,422 | 19,300 |
| 電力機器 | 電力(国内) | 1,167 | 1,288 | 1,453 | 1,287 | 5,195 | 965 | 1,153 | 1,379 | 1,234 | 4,731 | 1,022 | 1,172 | 1,451 | 1,377 | 5,026 | 5,300 |
| | 電力(海外) | 92 | 106 | 161 | 154 | 513 | 148 | 98 | 138 | 272 | 656 | 246 | 192 | 160 | 157 | 755 | 800 |
| | 環境省工ネ | 67 | 58 | 57 | 108 | 290 | 71 | 96 | 66 | 70 | 303 | 181 | 333 | 104 | 143 | 763 | 900 |
| | その他 | 38 | 56 | 90 | 96 | 280 | 28 | 103 | 90 | 126 | 347 | 5 | 89 | 21 | 45 | 162 | 300 |
| | 合計 | 1,364 | 1,508 | 1,761 | 1,645 | 6,278 | 1,212 | 1,450 | 1,673 | 1,702 | 6,037 | 1,456 | 1,787 | 1,738 | 1,723 | 6,705 | 7,300 |
| 総合計 | 4,515 | 5,369 | 5,893 | 6,051 | 21,828 | 5,388 | 5,540 | 6,446 | 6,500 | 23,874 | 5,925 | 6,531 | 7,035 | 6,634 | 26,127 | 26,600 | |

1. 2023年3月期 通期 経営概況（総括）
2024年3月期 通期 最新見通し

2. 中期経営計画 第Ⅱ期の進捗と取り組み

3. 補足資料

└ 中期経営計画のテーマ、事業セグメント、事業環境など

※業績数字について、次頁から四捨五入で表記しております。

2. 中期経営計画 第Ⅱ期の取り組み

長期経営ビジョン

挑戦する社風へと変革し、品質第一のモノづくりと、未来を見据えた新技術・新商品の開発、グローバルな事業展開の推進により、社員の夢を実現し社会に貢献する企業グループになる

中期経営計画

第Ⅰ期 2019～2021年度

第Ⅱ期 2022～2024年度

第Ⅲ期 2025～2028年度

売上高目標値【連結】



- ▶ 第Ⅱ期には、パワーエレクトロニクスの普及に貢献するため事業拡大を強かに推進する。また、エネルギーマネジメントのニーズの高まりを見据え、製品の機能拡張や市場開拓に挑む。

2. 中期経営計画 第Ⅱ期の取り組み

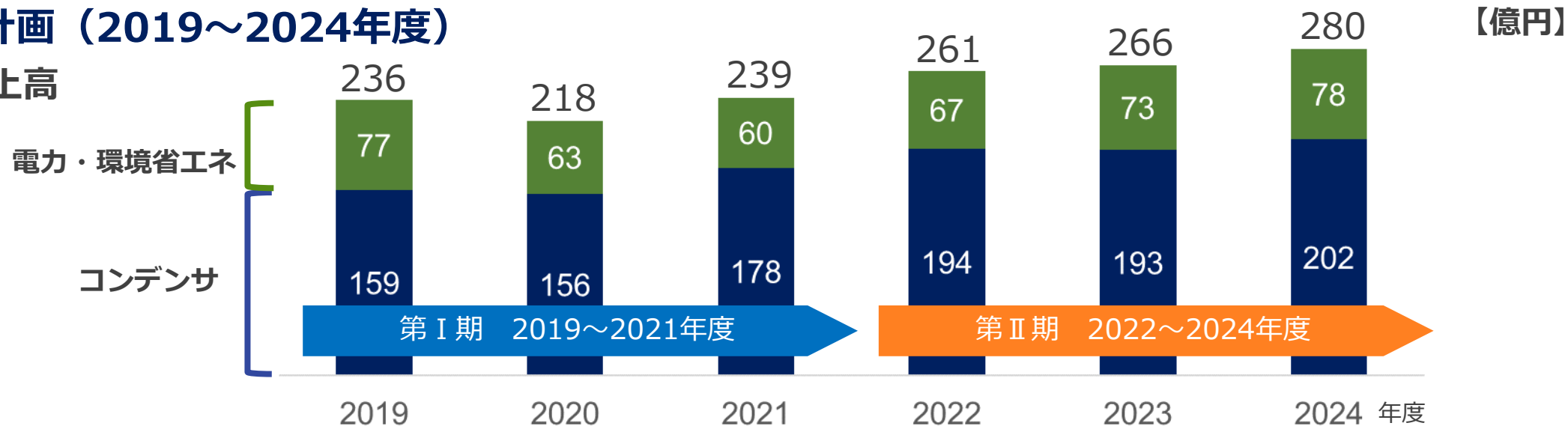
- 24年度で、売上高280億円、営業利益率8%超をめざす。
- 配当は、事業拡大のための設備・研究開発投資、人的な面の手当を考慮しつつ、株主様への利益還元を進めていく。

| 項目 | 単位 | 2021年度 実績 | 2022年度 実績 | 2023年度 | | 2024年度 |
|-------|------|--------------|--------------|------------------|-------------------|--------|
| | | | | 23年5月発表 最新見通し | 当初計画 (21年6月発表) | |
| 売上高 | 【億円】 | 239 | 261 | 266 | 262 | 280 |
| コンデンサ | 【億円】 | 178 | 194 | 193 | 189 | 202 |
| 電力機器 | 【億円】 | 60 | 67 | 73 | 73 | 78 |
| 営業利益 | 【億円】 | 10 | 9.3 | 16 | 20 | 23 |
| 営業利益率 | 【%】 | 4.2% | 3.6% | 6.0% | 7.7% | 8.1% |
| 配当性向 | 【%】 | 29.6% | 39.0% | 31.1% | 30%↗ | 30%↗ |

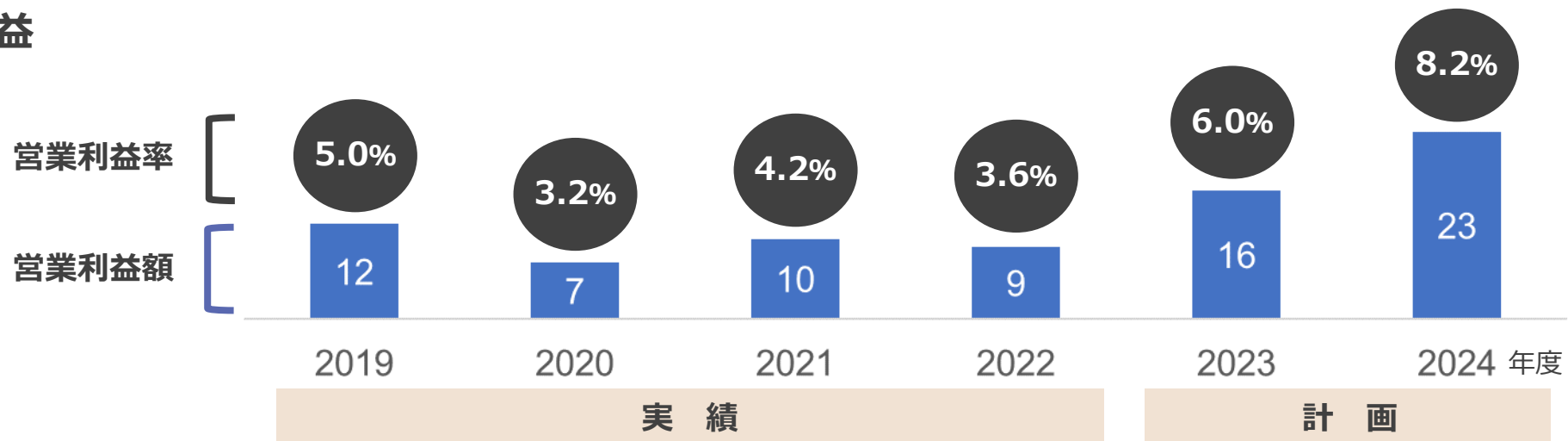
2. 中期経営計画 第Ⅱ期の取り組み

実績と計画 (2019~2024年度)

■ 売上高

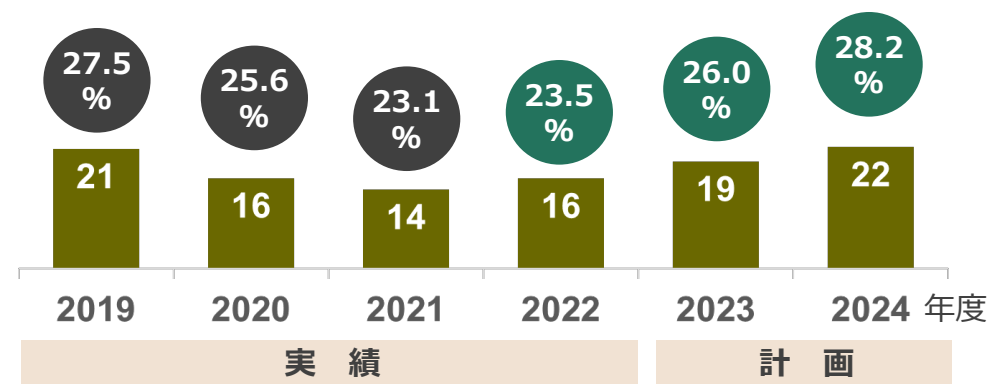
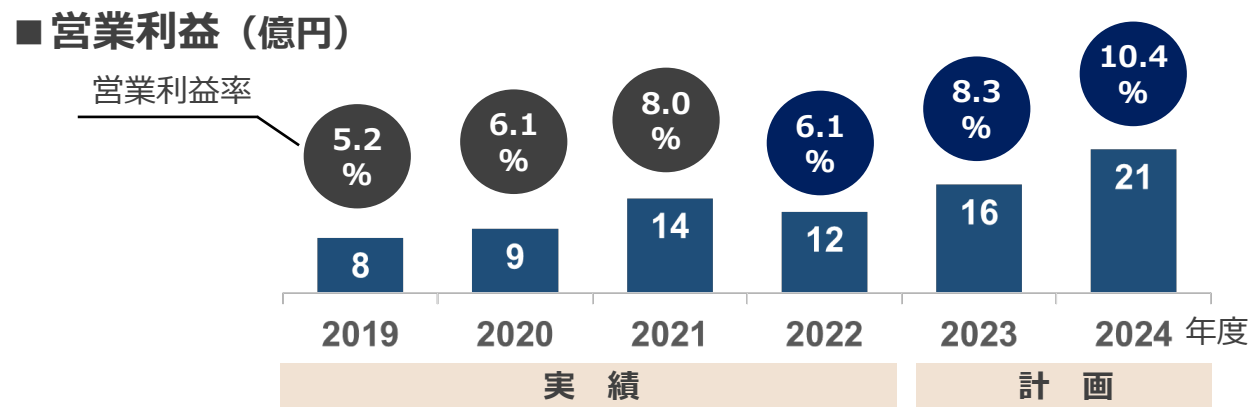
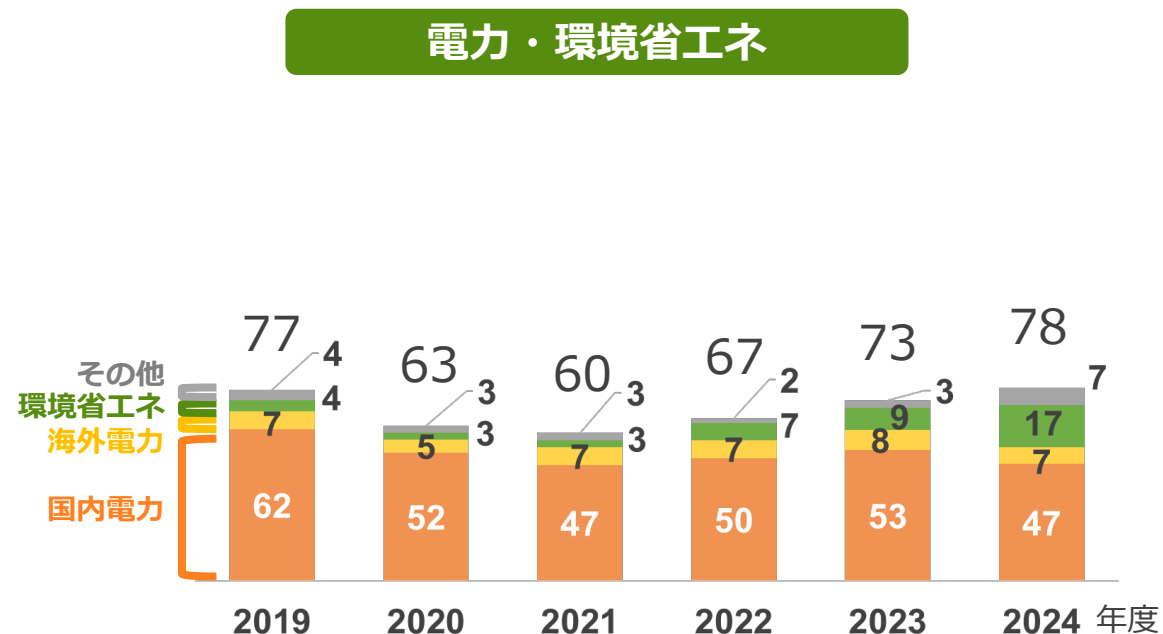
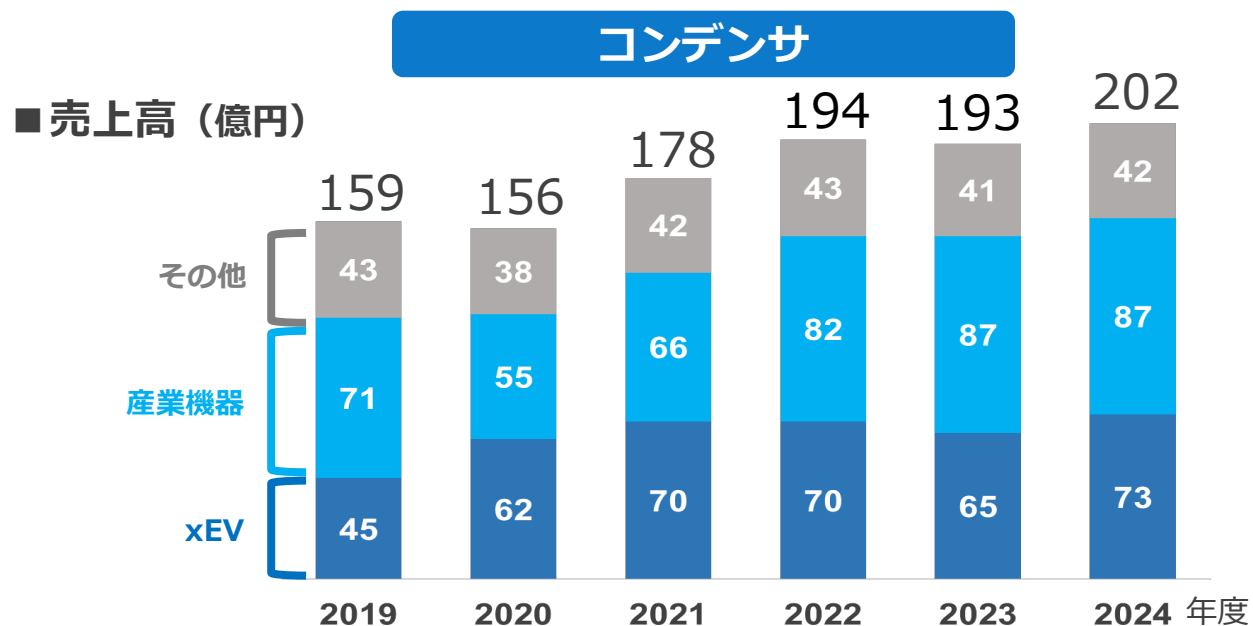


■ 営業利益



▶ 売上規模の拡大に合わせて生産性を向上し、2024年度に営業利益率8%台を達成する。

2. 中期経営計画 第Ⅱ期の取り組み



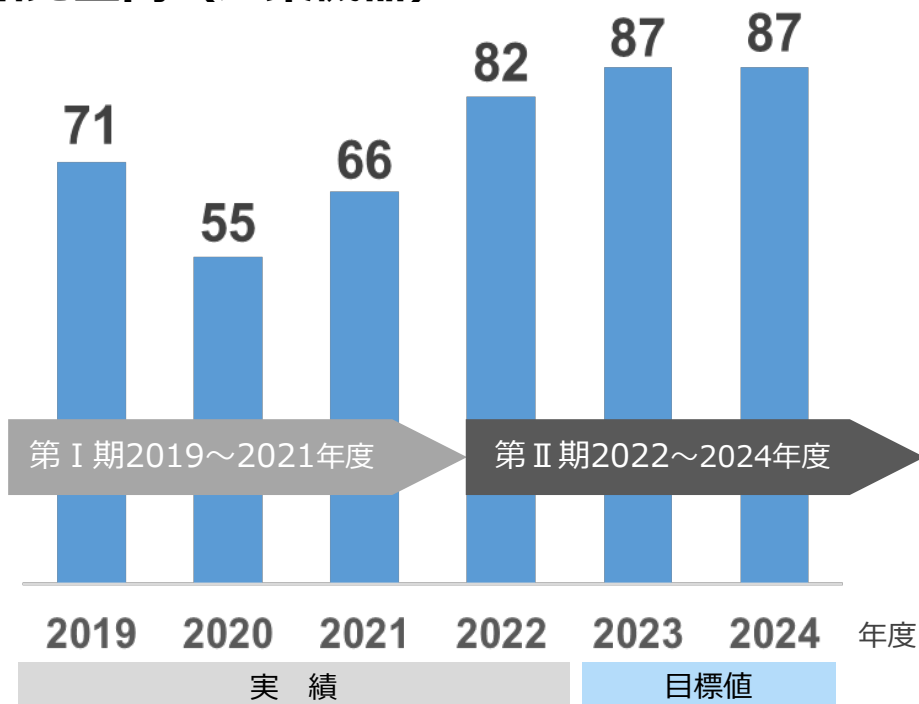
- ▶ コンデンサにおいては、xEV用製品で培った生産ノウハウの横展開により収益性の向上を狙う。
- ▶ 電力機器においては、既存品の原価抑制と高付加価値商品の販売拡大により高い利益率の維持を狙う。

2-1. 中期経営計画 産業機器

| | |
|-------------|--|
| 基本方針 | 顧客対応力の強化を図り、市場ニーズを具現化する要素技術と業界No.1のカスタマイズ力を実現し、成長軌道への回帰を果たす。 |
| 目標 | インフラ用フィルムコンデンサにおいてトップクラスの企業となる。 1) 海外シェアの拡大 2) 国内TOPシェアの獲得と維持 |



連結売上高（産業機器）【億円】



トピックス

- 太陽光パワーコンディショナ用コンデンサ売上拡大
 - ・生産ラインの増設を完了し稼働開始
 - ・さらなる増産に向けた設備増強を進める
- 新規案件への対応
 - ・コロナ禍が明け、電鉄車両関係の新規引合いが増加
 - ・下火となっていた中国市場も徐々に回復の兆し

2-1. 中期経営計画 産業機器

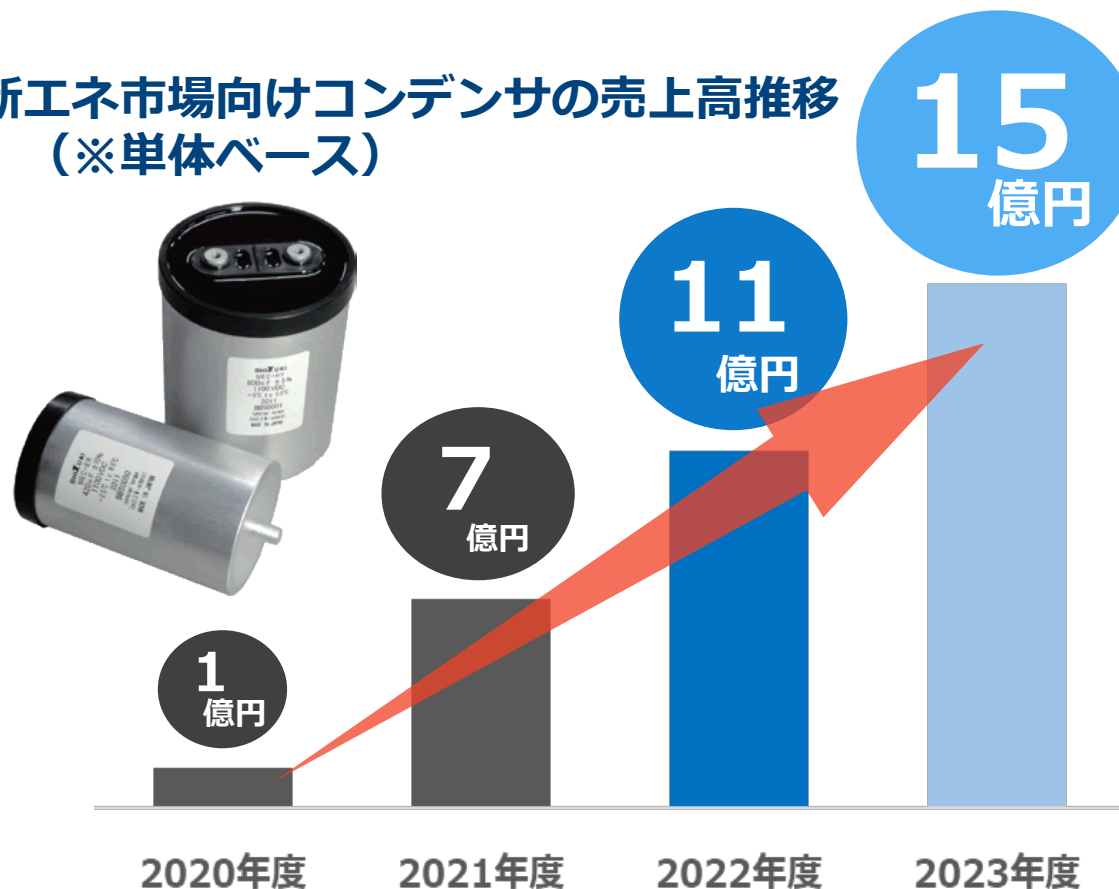
■ 太陽光パワーコンディショナ（PV-PCS）用コンデンサの増産

生産能力増強により、さらなる売上拡大を目指す。

11億円（22FY）⇒ **15億円以上**（23FY）

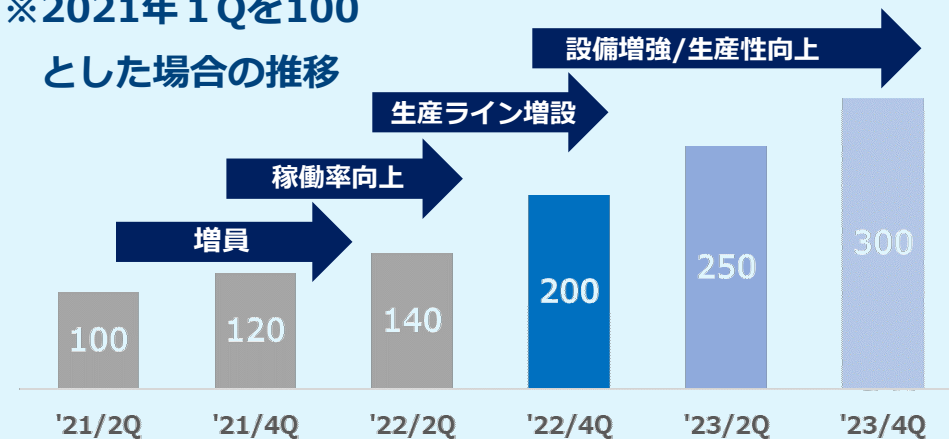


新エネ市場向けコンデンサの売上高推移
（※単体ベース）



主力商品の生産能力推移

※2021年1Qを100
とした場合の推移



ボトルネックとなっている設備の増設、および生産性改善による能力アップにより、さらなる生産能力の向上を図る。

2-2. 中期経営計画 xEV

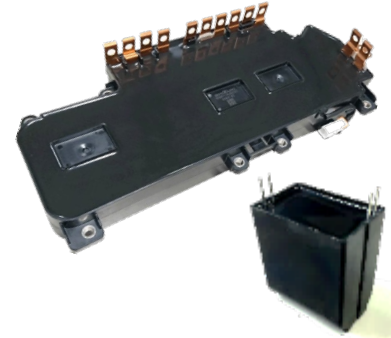
基本方針

市場シェアの獲得により、業界での存在感と影響力をもつポジションを確立する

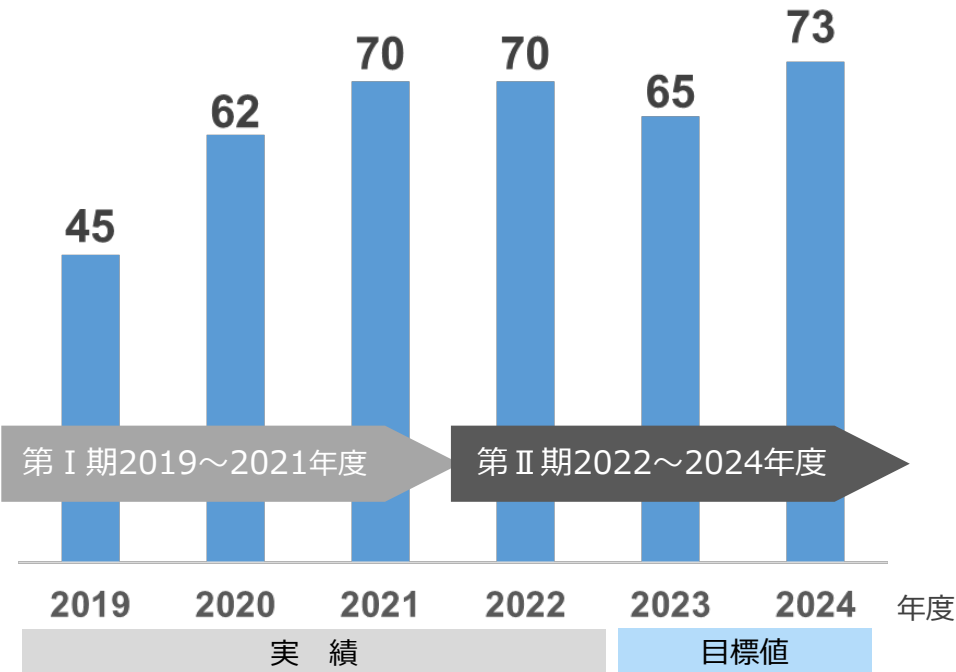
目標

世界シェア15%以上の獲得

- 1) 事業運営の効率を追求し、競争力の向上を図る
- 2) 長期視点とxEV事業の特性に即した投資を実施する



連結売上高 (xEV) 【億円】



トピックス

■ 収益性の改善

- ・ 主要部材については価格変動制を取り入れるなど、材料およびエネルギーコストの上昇影響を緩和
- ・ 自動化などの生産性向上取組により原価低減を推進。

■ 設備投資の推進

- ・ 工場建屋の増築に向けて具体的活動を開始
- ・ 第一弾として秋田指月に新棟 (約5,000㎡) 建設予定

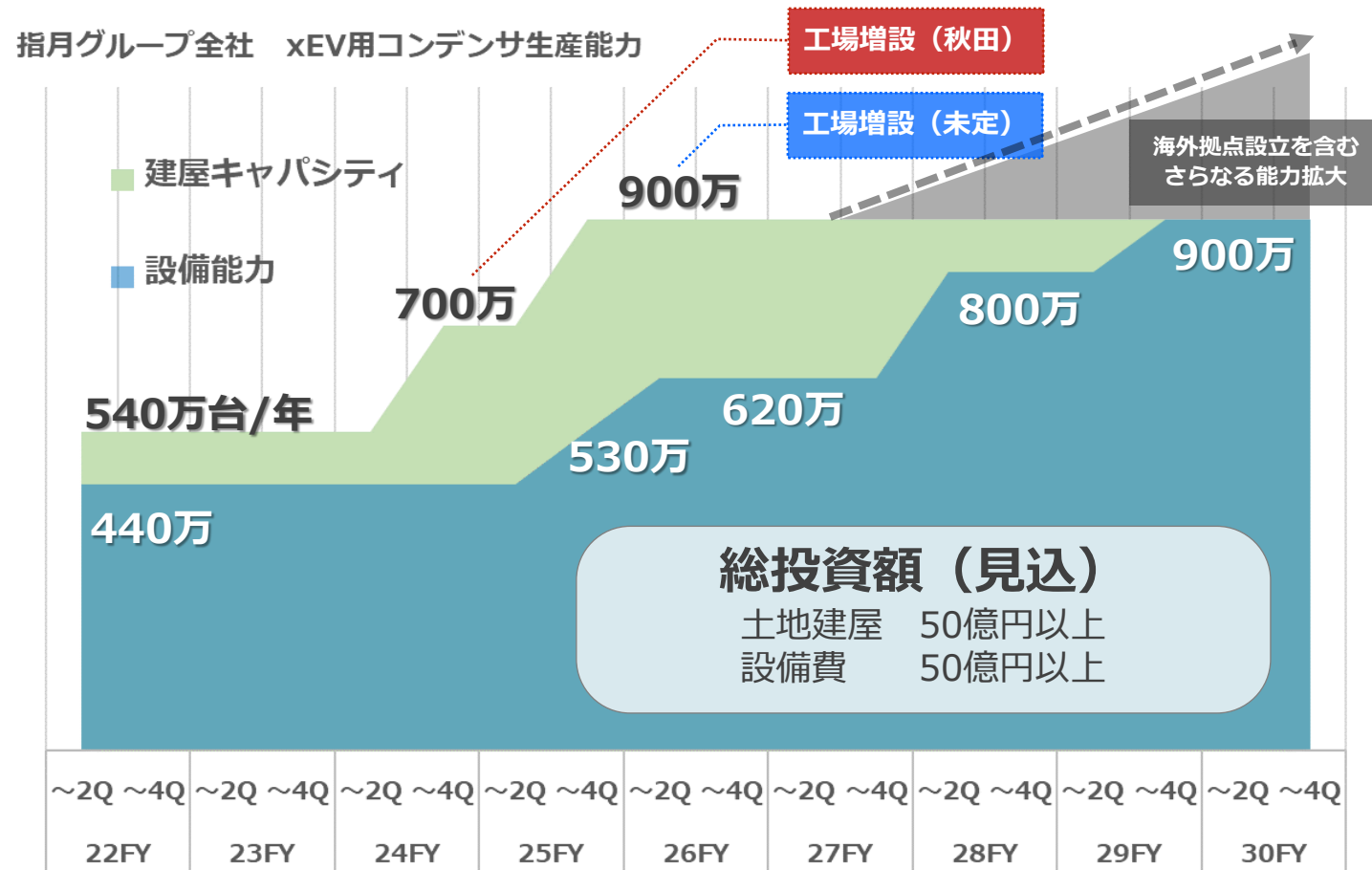
2-2. 中期経営計画 xEV

■ xEV用コンデンサ生産能力増強計画

国内拠点に工場（2棟）を段階的に増設し、生産能力を倍増する。



※440万台/年（22FY）⇒900万台以上/年（28FY） ※ 平均化した「コンデンサ」の台数



【秋田指月投資概要】

- ▶ 立地：秋田県雄勝郡羽後町
秋田指月（株）既存工場の隣接地



- ▶ 着工：2023年夏
- ▶ 竣工：2024年秋予定
（翌年から徐々に稼働予定）
- ▶ 延床面積： 約5,000㎡（平屋）

【次期工場投資】

詳細な時期や規模が確定次第、開示します。

2-3. 中期経営計画 電力・環境省エネ

基本方針

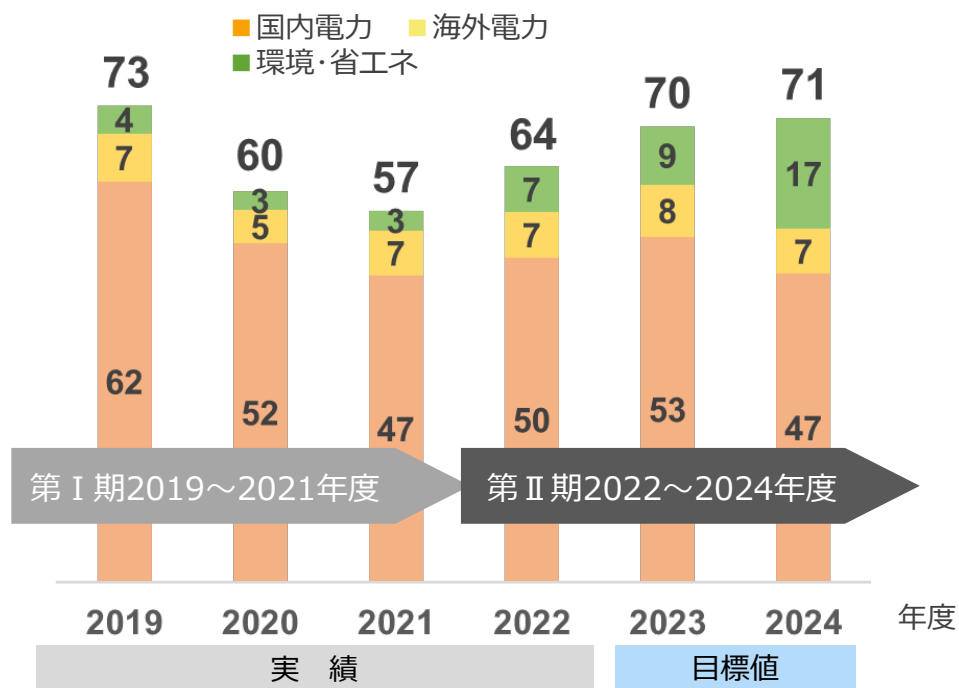
EMS、電力供給市場の変化を捉え、新商品提案による市場創出と既存商品の付加価値向上による利益拡大を両立させ、事業拡大を目指す。

目標

1. 新規事業の創出：環境・省エネの新たなニーズに応える新商品の事業化
2. 既存事業の収益性向上：商品力強化による付加価値向上と原価低減



連結売上高（電力・環境省エネ）【億円】



トピックス

■プロモーション活動強化

- ・展示会等を活用し、省エネソリューションをPR
- ・デザインや商標などにも拘ったブランディング推進
- ・他の機器メーカーとのタイアップによる提案活動強化

■新商品/新ソリューションの開発

- ・電力安定化に貢献する商品/サービスを開発中
(’23/9 スマート工場EXPOで公開を予定)

2-3. 中期経営計画 電力・環境省エネ

■ 第71回 電設工業展 JECA FAIR 2023 出展 (5/24~26 @インテックス大阪)

「脱炭素社会実現とレジリエンス強化への貢献」をテーマに、回生電力再利用装置、瞬時電圧低下補償装置、低損失の電力用コンデンサ・リアクトル、遠隔監視システムなど省エネに貢献する製品を紹介。



捨てる電気を「蓄え」「使う」


 パルキューブ
 蓄電一体型 DC-DC コンバータ

回生電力を有効活用

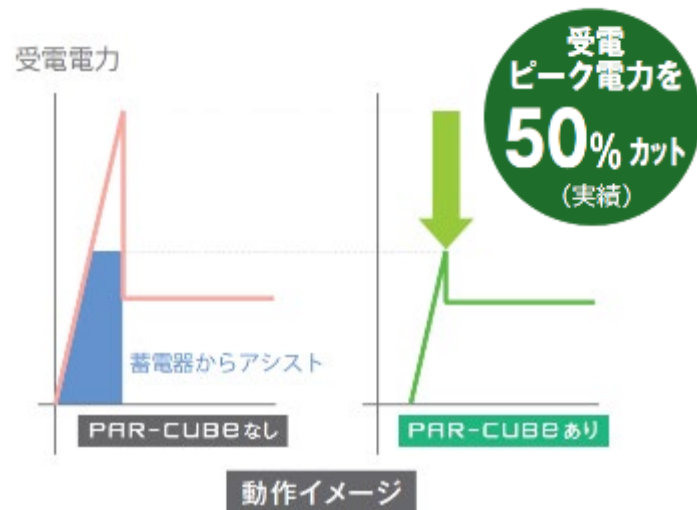
モータで発生した回生電力をPAR-CuBe内蔵の蓄電器に充電し、モータへ電力供給するときに合わせて蓄電器から放電することで消費電力を削減します。



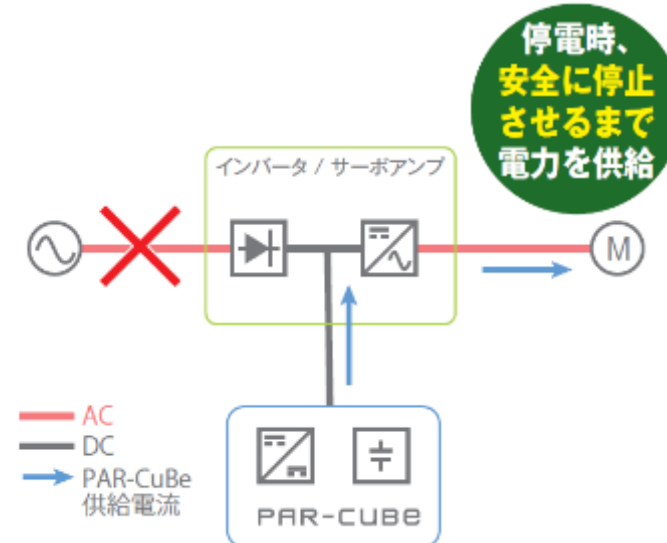
特長① CO₂ 排出量の削減



特長② 設備容量の低減



特長③ 非常用電源として



日本でも世界でも瞬低補償

瞬時電圧低下補償装置

⚡ UL/CE 取得で欧米への輸出可能

SB単相シリーズ・SBラックシリーズがUL/CE認証を取得し、米国や欧州でも安全にご利用いただけるようになりました。



UL安全規格:NRTL 認証取得 (UL1012)
アメリカで定められた電気機器等に関する規格
アメリカ向けに輸出される原料や製品を製造販売する
国や企業はUL安全規格の認可が必要です。



CEマーキング適合 (LVD/EMC指令)
製品がEU (欧州連合) 加盟国の法律に適合した証
としてつけられる基準適合マークです。
EU加盟国+EFTA加盟国+トルコに輸出する際に
適合が必要です。

⚡ 用途・容量に応じて多彩なランナップ展開



SB シリーズ



SB ラックシリーズ



VB シリーズ ※

⚡ UPS に比べ様々な点で高い優位性

- Point 1 **小型** UPS に比べ**体積約 1/4** の小型化を実現*
- Point 2 **軽量** UPS に比べ**質量約 1/7** の小型化を実現*
- Point 3 **長寿命** **10年間**蓄電器交換が不要
- Point 4 **消防への届け出不要** UPS に比べ**設置手続き 0**
- Point 5 **環境に優しい** **鉛使用 0** ※SB 10kVA との比較

⚡ 豊富なオプション対応

蓄電器

- LiC (リチウムイオンキャパシタ) 採用!
- 補償時間や用途に応じて電解コンデンサ、LiCなど組みます。
(標準蓄電器 VBシリーズ:LiC SBシリーズ、SBラック:電解コンデンサ)

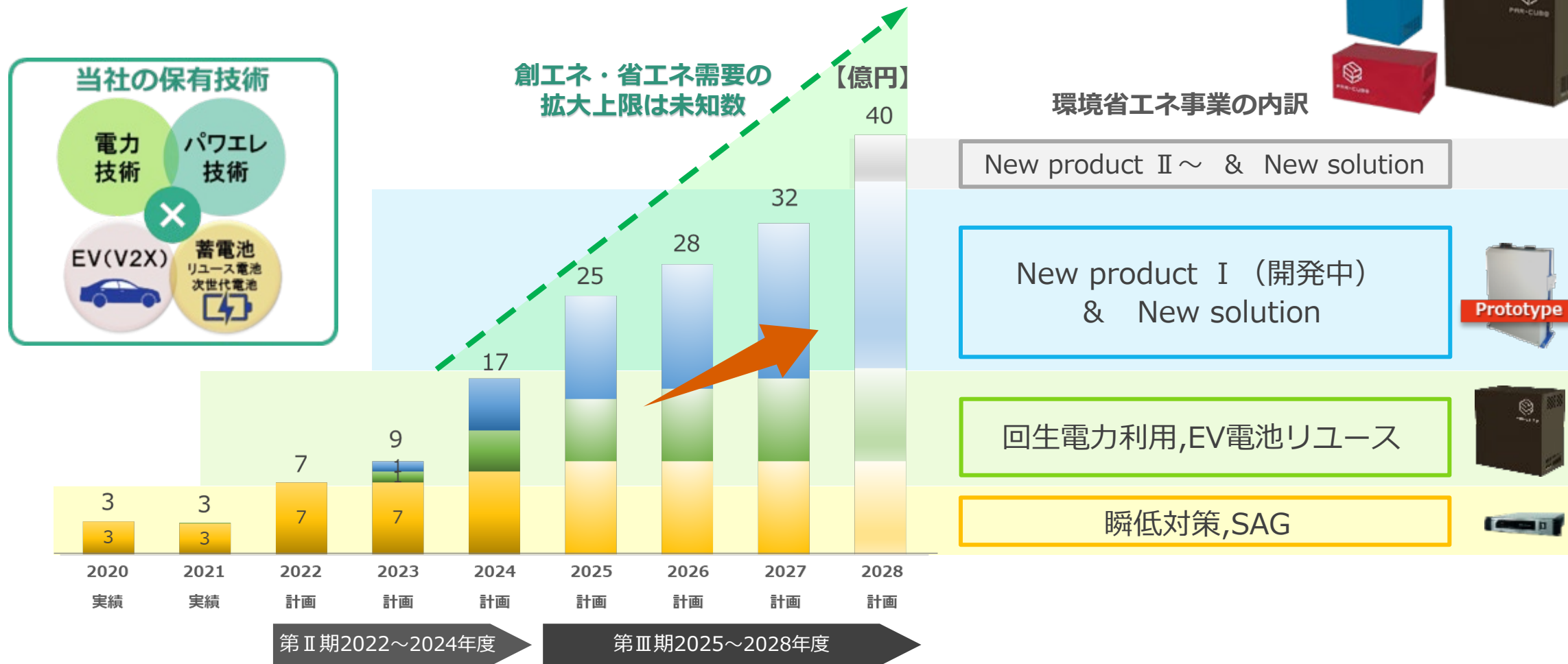
補償時間

- VBシリーズは**最長15秒**まで延長可能!
- SB三相は**最長1秒**まで、SBラックタイプは**最長2秒**まで延長可能です。
(標準補償時間 VBシリーズ、SB単相シリーズ、SBラックシリーズ:1秒
SB三相シリーズ:0.3秒)

※一部容量を除きます。

2-3. 中期経営計画 電力・環境省エネ

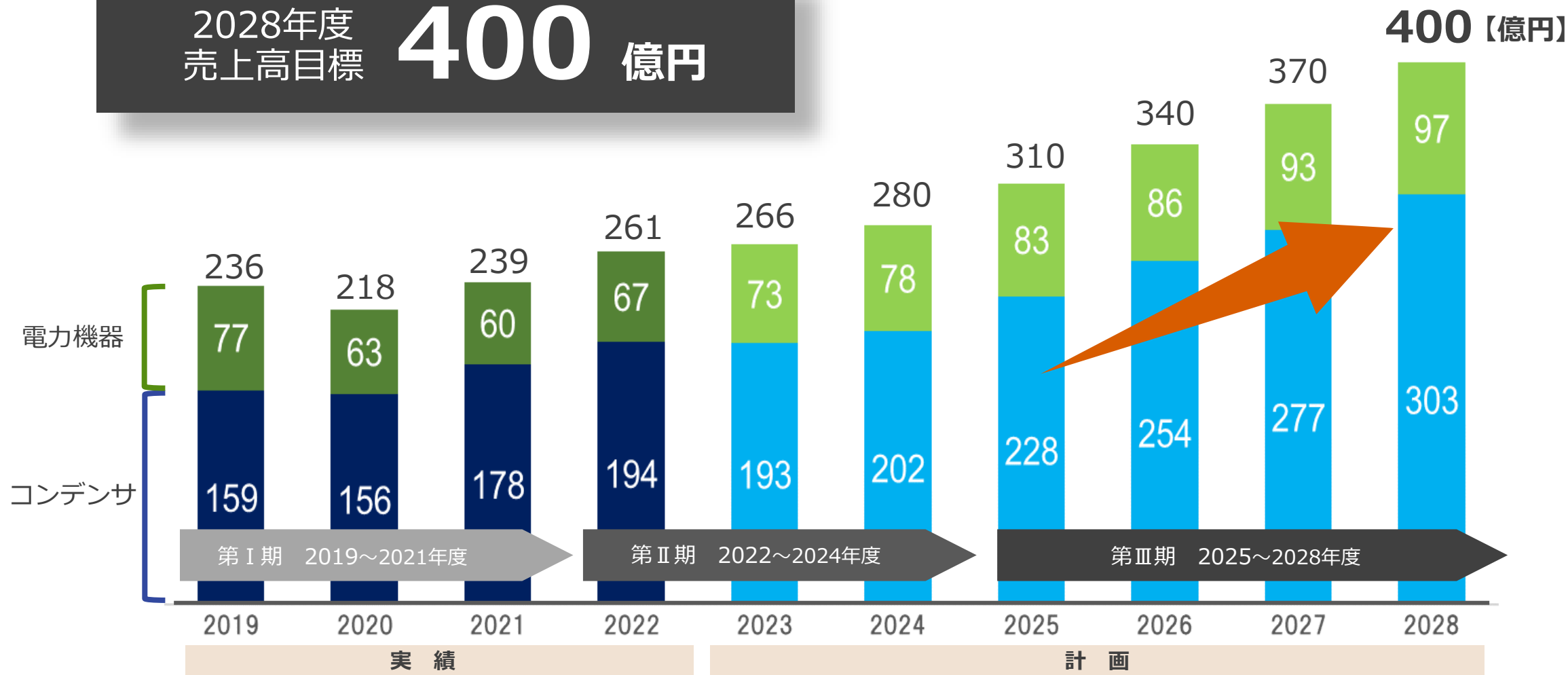
■ 環境省エネ事業 長期計画



- ▶ 豊富な情報量：進相器ビジネスで培った販売ネットワークから洗練された情報を入手する。
- ▶ 技術力：力率改善・高調波抑制・瞬低対策製品で培われた電力・パワーエレクトロニクス技術と先進技術を融合し多様化するニーズに適応

2-4. 中期経営計画 2028年度までの売上高目標

2028年度
売上高目標 **400** 億円



▶中期計画最終年度の売上高目標を400億円とし、生産能力ならびに戦力の増強を進める。

2-5. 中期経営計画 ESG・SDGsの取り組み

シヅキグループは、事業推進をとおして環境や社会に関わる課題解決を目指すとともに、SDGsの達成に向けたESG経営を推進し、持続的成長と企業価値の向上を実現いたします。

E

- 1) 事業活動をとおして、省エネ技術の普及とCO₂削減へ貢献する
- 2) 自社でのCO₂排出量の削減と環境に配慮した材料等の検討を進める

S

- 1) 多様な人材・能力・働き方を尊重し、イノベーティブな企業を目指す
- 2) 人材育成により高い技術力を獲得し、社会インフラの安定化に貢献する
- 3) 一層の品質レベル向上により顧客満足の向上を図る

G

- 1) 市場の要請に迅速に応える運営体制を構築する
- 2) 全方位でのパートナーとの連携を強化、拡大する
- 3) 企業価値向上視点を盛り込んだコンプライアンス経営を拡大展開する



主なマテリアリティ（重要課題）に対する取り組み



1) 省エネ技術の普及とCO₂削減への貢献

環境負荷低減に貢献する商品の販売拡大

- ① x EV市場向けコンデンサ
- ②再生可能エネルギー市場向けコンデンサ
およびシステム商品
- ③電力回生、省エネ用システム商品

2) 自社でのCO₂排出量の削減

- ・製造時の排出量削減
- ・輸送にかかる排出量の削減



1) 多様な人材・能力・働き方の尊重

- ・ダイバーシティ&インクルージョンの推進
 - ①女性活躍の推進
 - ②障がい者自立支援
- ・ワークライフバランスの実現
 - ①年休取得の推進、男性育児休業取得の推進
 - ②柔軟な働き方の選択

2) 人材育成による高い技術力の獲得

- ・有識者の顧問契約を活用した技術者育成
- ・共創イノベーションの推進

1. 2023年3月期 通期 経営概況（総括）
2024年3月期 通期 最新見通し
2. 中期経営計画 第Ⅱ期の進捗と取り組み
3. 補足資料
 - └ 中期経営計画のテーマ、事業セグメント、事業環境など

中期経営計画 第Ⅱ期のテーマ

新たなステージへの「挑戦」

事業成長に向けた、**攻めの経営**へ。

1. パワーエレクトロニクスの進化に応え、フィルムコンデンサ事業のシェア拡大を目指す。
2. エネルギーマネジメントの新たなニーズに応え、電力・環境省エネ分野での新事業の創出に挑戦する。
3. 基礎力向上のテーマについて全社統合の取組みを推進し、事業拡大と人材育成を加速する。

電気エネルギーの効率的な活用を支え、
安全で快適な脱炭素社会の実現に貢献するシツキの事業

コンデンサ・モジュール

重点事業：産業機器、xEV

電力機器システム

重点事業：電力、環境省エネ

電気に関わる多様なシーンに貢献



電気を
つくる

発電

- 発電所
- 再生可能エネルギー

電気を
はこぶ

送電

- 直流送電
- 周波数同期装置

電気を
ためる

蓄電

- 蓄電INV
- 次世代電池利用

電気を
まもる

対策

- 落雷影響
- 高調波影響

電気を
うける
くばる

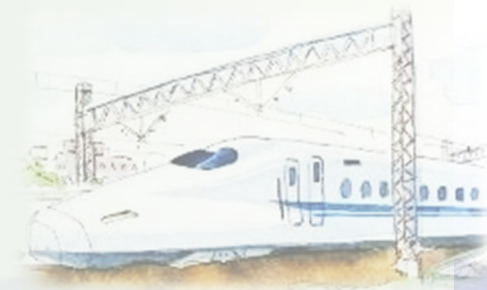
受配電

- V2X ○受電盤
- 配電盤
- 進相設備

電気を
つかう

利用

- xEV ○鉄道
- モータドライブ
- 家電・医療機器



安心・安全で快適な
社会の実現

社会課題の
解決へ貢献

持続可能な
地球環境の実現

サステナビリティの実現に向け、機能拡大と技術の高度化を推進する

事業に関連する主なSDGs



電気エネルギーの効率的な活用を支え、安全で快適な脱炭素社会の実現に貢献するシツキの事業

コンデンサ・モジュール

重点事業：産業機器、xEV

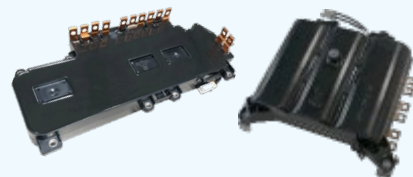
産業機器

- ◆代表製品
電鉄車両用コンデンサ
モータ/ドライブインバータ用コンデンサ
太陽光/風力発電用コンデンサ、各種電源用コンデンサ
- ◆顧客・販売先
装置メーカー/機器メーカー（部品として組込まれる）



xEV

- ◆代表製品
 - ①主機用コンデンサ
駆動インバータ用平滑コンデンサ
 - ②補機用コンデンサ
DCDCコンバータおよび充電器用コンデンサ
電動コンプレッサ用コンデンサ
- ◆顧客・販売先
各装置/機器メーカー（部品として組込まれる）



電力機器システム

重点事業：電力、環境省エネ

電力

- ◆代表製品
電力受配電用 進相コンデンサ、
直列リアクトル
- ◆顧客・販売先
重電メーカー、盤メーカー、サブコン、工事店



環境省エネ

- ◆代表製品
高調波（電気障害）対策装置
瞬時電圧低下補償装置
回生エネルギー蓄電インバータ
無効電力補償装置
- ◆顧客・販売先
重電メーカー、機械メーカー、需要家
（マンション・商業施設・ビル・工場、等）



加速する脱炭素化の流れと共に、拡大を続けるシヅキの事業環境

■ 産業分野：再生可能エネルギーの導入の拡大と省エネマインドの高まり

- ・ 電力変換装置（インバータ、コンバータ）用**フィルムコンデンサ***の需要拡大
- ・ 電圧/周波数変動による障害の顕在化 → **電力安定化装置***の需要拡大
- ・ 省エネを目的とする**蓄電装置***・**電力回生装置***の需要拡大

■ 運輸分野：次世代モビリティ（EV等）の拡大

- ・ EV駆動インバータ用**平滑コンデンサ（フィルムコンデンサ*）**の需要拡大
- ・ **充電器、EV活用システム（V2X*）**の需要拡大

■ エネルギー変換分野：高効率パワーエレクトロニクス技術導入拡大

- ・ SiCインバータ、GaNコンバータ用**フィルムコンデンサ***の需要拡大

※当社事業領域

脱炭素化の潮流の高まり

<2016年11月発効 パリ協定>
<2019年6月閣議決定 パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略>
<2020年10月政府発表 2050年カーボンニュートラル宣言>
<2020年12月策定 グリーン成長戦略>
<2021年5月成立 改正地球温暖化対策推進法> 等



規制目標設定の引上げ

- ◆ CO₂排出量目標の引上げ
- ◆ 乗用車燃費基準の引上げ、等



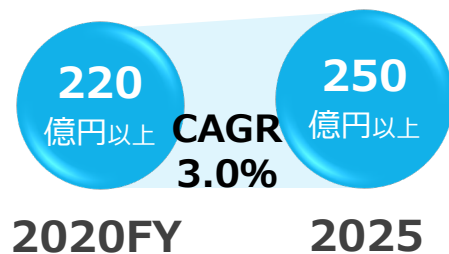
■ 産業機器の主要な市場における、フィルムコンデンサの世界需要と成長率※1

※1 中～大容量フィルムコンデンサに特化した当社試算

駆動系 I N V 市場



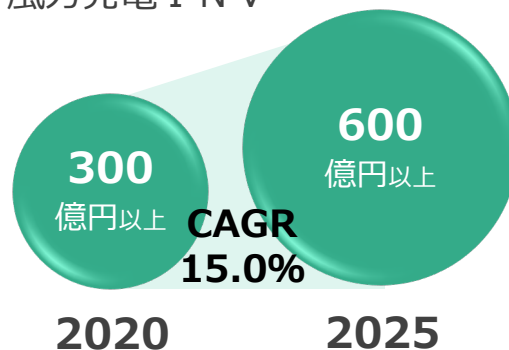
含まれる市場：
電鉄車両・汎用ドライブINV



再生可能エネルギー



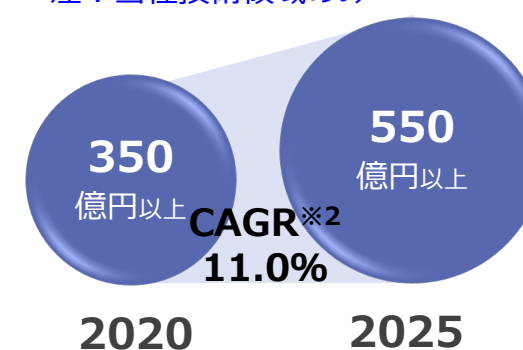
含まれる市場：
太陽光 P C S (500kW以上)
風力発電 I N V



系統系 I N V 市場



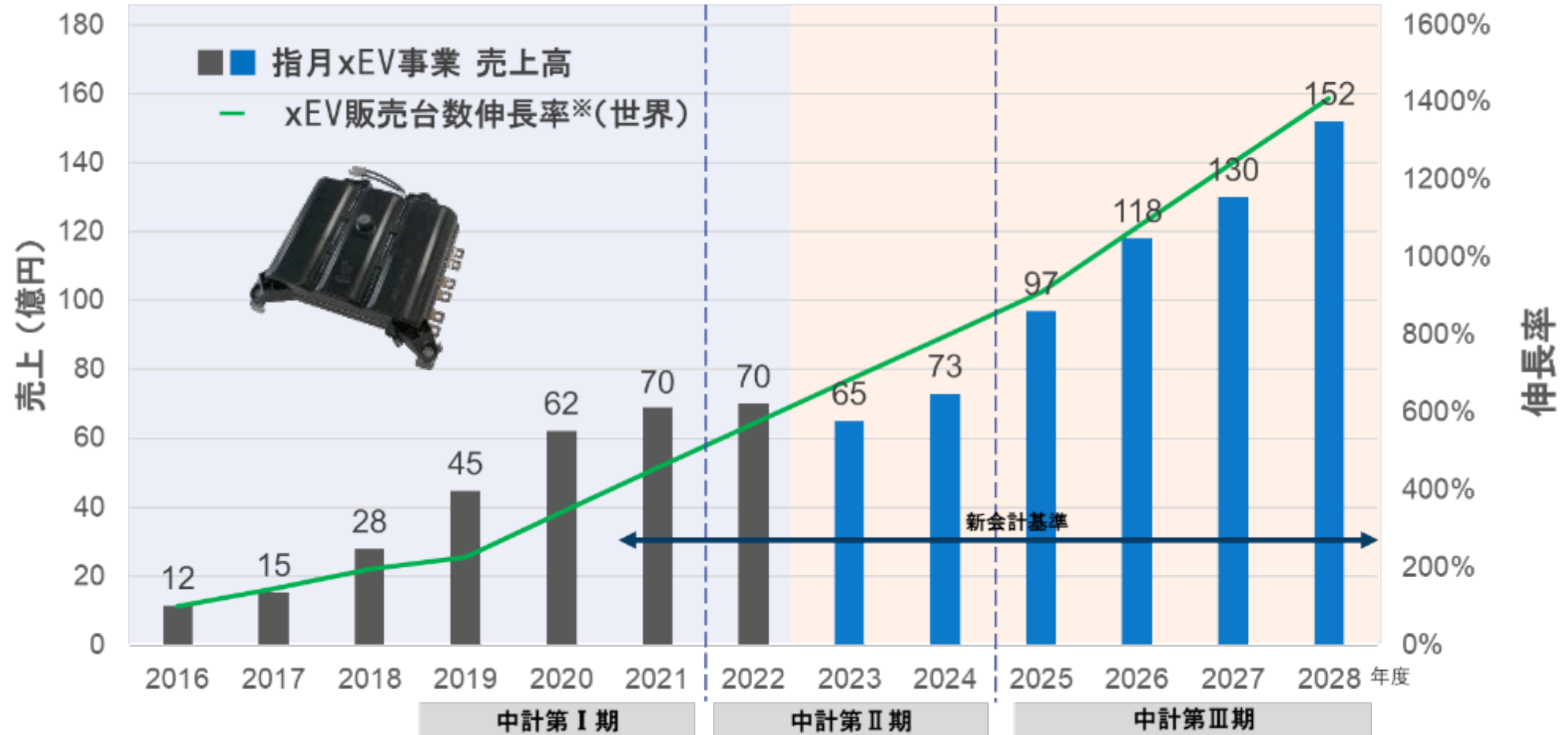
含まれる市場：
直流送電システム (H V D C)
注：当社技術領域のみ



※2 CAGR：年平均成長率

- ▶ パワーエレクトロニクスに支えられる電力変換の需要が世界的に増加する。
- ▶ 上記に代表される高電圧・大電流領域においては、フィルムコンデンサは必須となる。

■ xEV事業の実績と計画（伸長率は2016年度を100%として算出）



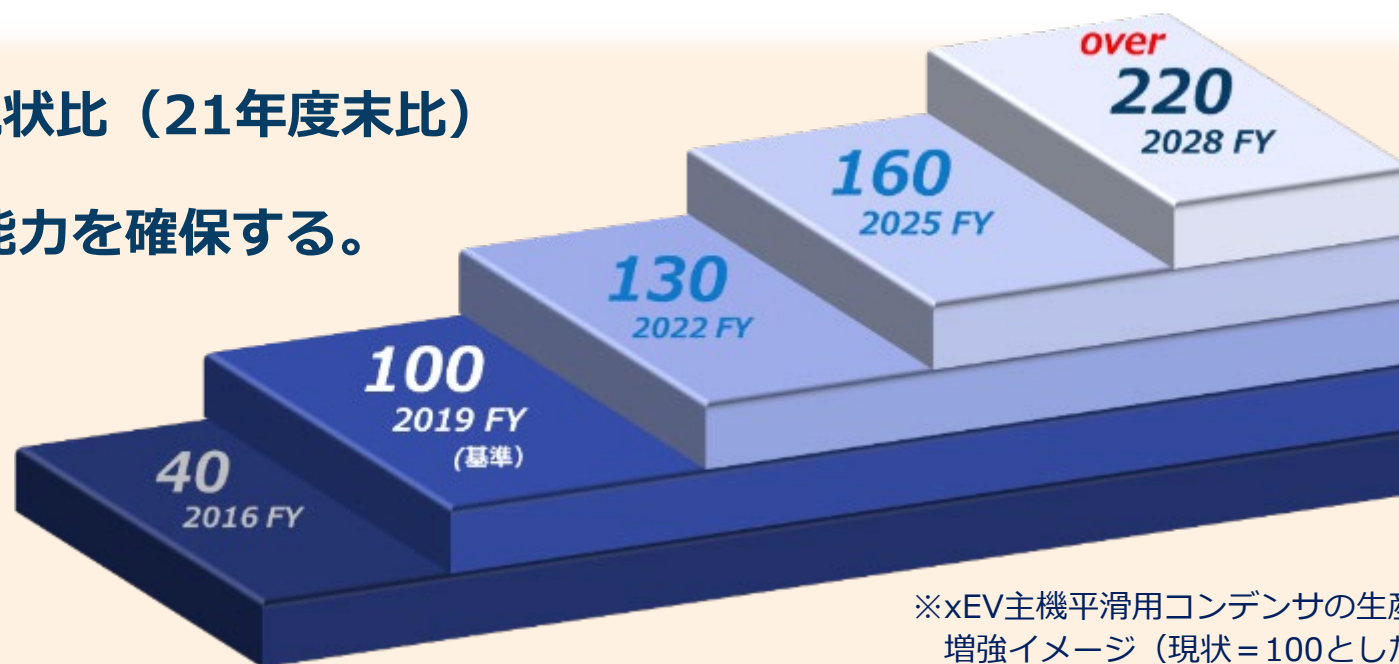
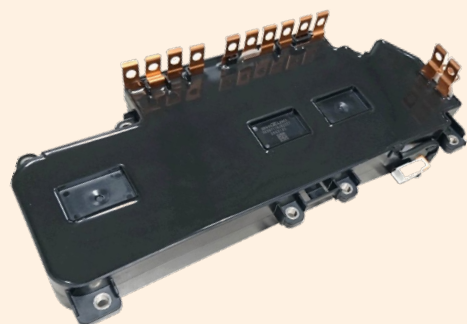
※48V系マイルドを除く、HV・PHEV・EV・FCVの合計台数の伸長率（2016年度を基準とした）。市場調査会社など複数のデータを元に当社が試算。

- ▶市場成長を上回る伸長率を実現してきたが、22～24年度は案件の計画変更により市場の伸びを下回る見通し。
- ▶事業拡大に向けた競争力強化と生産能力増強を加速させる。

■生産能力の増強について

投資を継続し、2028年度までに現状比（21年度末比）

2.2 倍以上 の生産能力を確保する。



※xEV主機平滑用コンデンサの生産能力
増強イメージ（現状 = 100とした比率）

岡山指月（株）



- ・ xEV用各種コンデンサの設計～製造拠点
- ・ 岡山指月は今年度（21年度）に工場を一部増設
- ・ 今後も適時、必要な生産能力に合わせた投資を実施

秋田指月（株）



（株）村田指月FC ソリューションズ



- ・ （株）村田製作所との合弁会社
- ・ 秋田指月（株）に隣接
- ・ 高耐熱コンデンサ開発拠点

指月R&Dセンター



- ・ フィルムコンデンサ全般の研究・開発拠点
- ・ 2018年度竣工（岡山から移転）

▶国内既存拠点の生産能力増強を進め、段階的に新拠点の立上げを進める。

■ 市場環境

- ・ 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、電力・環境省エネ市場は拡大
- ・ 蓄エネ・創エネ・省エネ のニーズは多様であり、ニーズへの対応が複雑化

蓄
エネ

蓄電・V2X・VPPなど

創
エネ

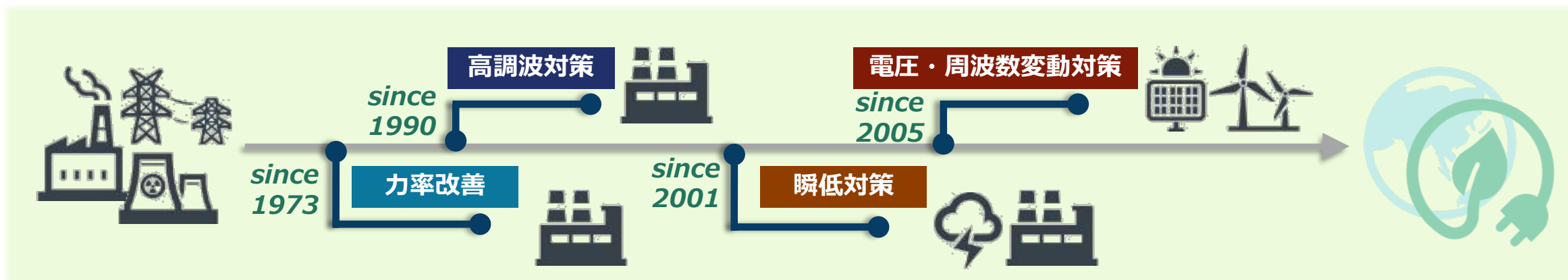
再生可能エネルギー・
電力安定化装置

省
エネ

電力回生・力率改善

■ 当社の強み

- ・ 時代に流れに沿って、さまざまな電力障害対策におけるソリューションを実現し、
強固なネットワークと高い国内シェアを獲得している。



▶ 再生可能エネルギーの拡大による電力安定化ニーズの増加、高まる省エネ志向は当社にとって「追い風」

参考事例：電力回生用インバータ装置

大手企業複数社と商談中

「省エネ」「BCP」に対するニーズと需要の高まりへ対応

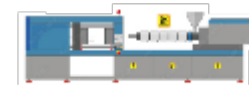


- 工場内の工作機械（※1）や搬送機などに取り付け、回生電力（※2）を利用し電力を有効活用する。
- 蓄電機能により、災害時にはスマートフォンやPCなどへ電力供給が可能。
- 各企業のニーズにあわせたカスタム対応で、最適製品を提供し顧客満足の上を実現。

※1 省エネへの寄与が期待できる工作機の例



金属加工設備



射出成型機



繊維機械

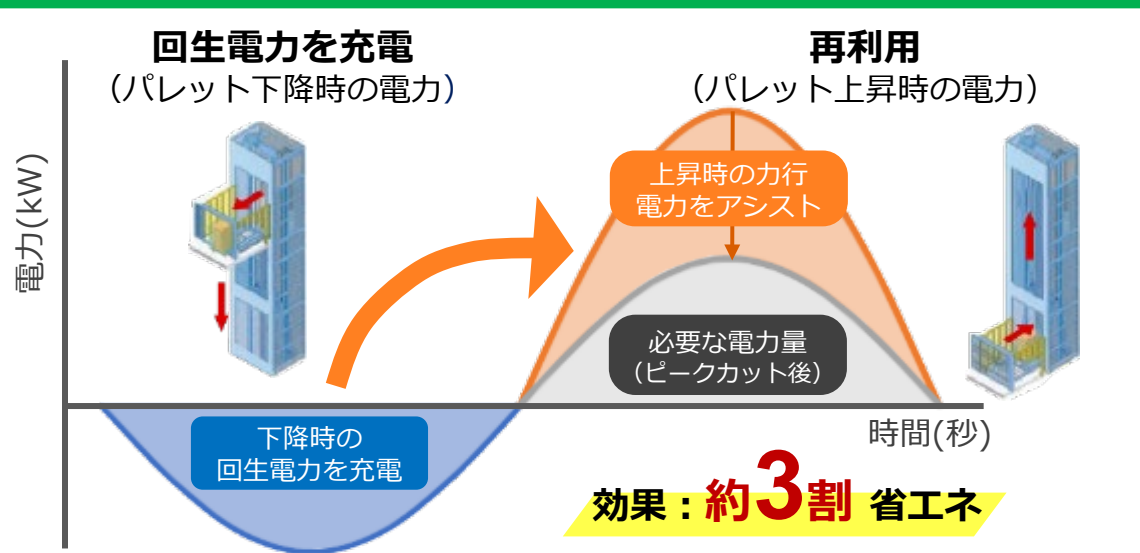


プレス機

※2 回生電力

機械や設備の減速や下降時に発生するエネルギーを電力として貯め、再利用するもの。

事例1. 垂直搬送機の省エネ化



事例2. EVリユース電池を活用した工場設備の電力回生



大手自動車メーカー向けにEVリユース電池を用いた電力回生インバータを今期試作し、省エネ効果を評価予定

注意事項

この資料に記載されている、当社および当社グループに関する業績見通し、計画、経営目標、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、あくまでも将来の業績などに関する見通しであり、それらは各資料の作成時点において入手している情報と一定の前提に基づき作成されております。従いまして、実際の業績は経済環境、市場動向、製品の需要変動、価格変動、為替レートの変動などの重要なリスク要因や不確実な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性がありますのでご注意ください。